

日ごとに秋も深まり、落ち葉が舞う季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？寒暖の差が激しく、朝晩は冷え込む日もありますので、風邪など引かれませんか様、ご留意下さい。



4年生への共用試験 (OSCE, CBT)を実施しました。

11月17日(土)に共用試験OSCEが行われました。実習棟A2階テュートリアル室にて身体診察の試験が行われ、4年生は、頭頸部診察、胸部診察・バイタルサイン測定、腹部診察、神経診察、手技・救急に関する課題に取り組みました。また、医療面接は講義棟B 2階で行われました。これまでと同様に、午前中に試験が終了した学生と午後に試験を受ける学生が出会うことがないように配慮し、問題なく無事終了することができました。外部モニター委員の先生方からも非常にスムーズにOSCE試験の運営がなされており、また学生の理解度も総じて高いとのコメントを頂きました。

また、12月5日(水)に共用試験CBTが例年通り、工学部の情報処理演習室で行われました。外部モニター委員の先生方から非常にスムーズにCBT試験の運営がなされており、何も問題ありませんとの評価を頂きました。担当者の皆様のご尽力のおかげで、問題なく、進行することができました。どうも有難うございました。来年もより一層、円滑に進行できるように取り組んでいきたいと思えます。

分野別認証評価の第2回、第3回領域部会を開催しました。

分野別認証評価の自己点検評価報告書は、9つの領域から構成されていますが、この度、領域1(使命と学修成果)および領域7(プログラム評価)に関する領域部会を行いました。医学教育センター、学務課で作成した素案を基に、ブラッシュアップを行いました。医学教育センター、学務課のメンバーに加え、領域1および領域7を担当される先生方にご参加頂きました。活発な討論ができ、有意義な領域部会となりました。今後も他の領域部会を順次行っていく予定ですので、ご協力の程、宜しくお願い致します。

これまでに開催された部会
(領域1, 6, 7)

今後開催される部会
(領域2, 3, 4, 5, 8, 9)



『学生の学びを促す学修ポートフォリオとは～今、改めて学修成果の可視化について考える～』に参加しました。

11月22日(木)に本学吉田キャンパスにおいて、『学生の学びを促す学修ポートフォリオとは～今、改めて学修成果の可視化について考える～』が開催されました。学修成果の可視化を通して、学生は自分自身の学びを振り返り、次なる学びに繋げていくため、学修ポートフォリオの重要性が一層増えています。今回のFD・SDワークショップでは、岩手大学教育推進機構の江本理恵先生に、『ディプロマ・ポリシー達成度の可視化と学修ポートフォリオの活用』と題して、また、本学教育学部附属教育実践総合センターの鷹岡亮先生に、『学修ポートフォリオを通じた学生の振り返りの意義と効果』と題して、実際の実践事例を紹介して頂きながら、学生の学びを促す学修ポートフォリオの活用方法に焦点を当てたご講演を行って頂きました。参加者には、本学の教員のみならず、県内の他大学の教員や高校の教員の方々もおられ、様々な方面から活発な議論が行われました。今回のFD・SDワークショップで得られた情報を活かして、学生の主体的学修を促す学修ポートフォリオの活用方法を改めて考えていきたいと思ひます。



担任制に関して

平成29年度より、2年生から担任制を導入しています。現在は、2, 3年生のみですが、最終的には、2年生から6年生までを一貫して各講座の先生方にご担当頂く予定です。この担任制は、学生と長期間接し、彼らの修学状態、生活状態、精神状態、キャリアプランを把握することで、学生の能力と可能性を引き出し、また、学生の抱える修学問題やメンタルな問題に対して、教員が適切な助言や対応を行う相談窓口になると考えられます。また、学生同士が低学年時から互いに生活や修学に良い影響を及ぼし合い、さらに、学年を超えた交流も盛んになることが期待されます。今後、年度毎に担当学生が増え、教員の負担も増えると思われませんが、ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp